

明科駅周辺のまちづくり事業が平成30年度（2018年）に事業化しました！（詳細は裏面へ）事業の進捗を「明科駅周辺まちづくり広報」にて、皆さまに随時ご報告していきます。

明科駅前広場改修の基本設計が出来ました！！

〔明科駅前広場基本設計のイメージ図〕



平成30年度（2018年）から事業化された明科駅周辺のまちづくり事業（明科駅周辺都市再生整備計画）のメイン事業として、明科駅前広場の再整備を行います。

平成29年度（2017年）に行なった基本設計では、駅前広場の各施設配置などの基本的なレイアウトを作成しました。

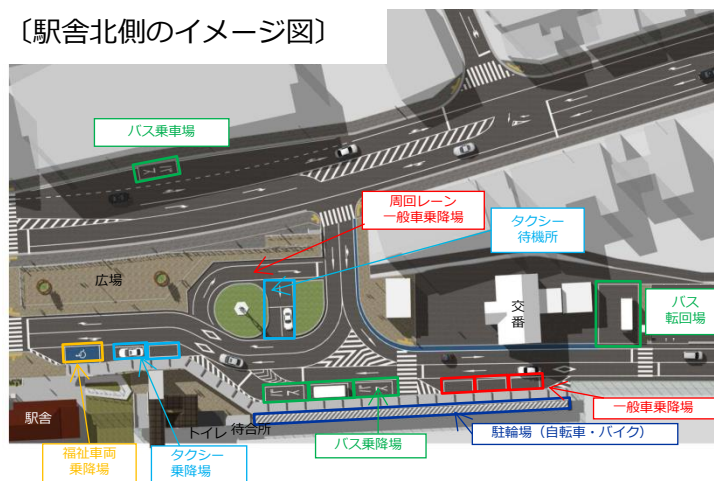
基本設計のポイントは、電車を降りて駅舎から出た時の北アルプスの眺望が印象に残るように、駅前には交差点まで見通しを良くすると共に、憩いの広場を配置してイベントなどにも活用できる空間を設けました。

また、駅を中心として、南側に一般車駐車場、自転車駐輪場を、北側に一般車やバス、タクシーの乗降場を配置しました。自動車の動線を一方向とすることで、混雑時に車両がスムーズに通行できるよう配慮しました。

今年度は、実施設計を行い、詳細な図面の作成をします。地域の皆さまとワークショップ形式で、各施設のデザインなどの意見交換を行う予定です。

開催日時は、この「まちづくり広報」等でお知らせします。

〔駅舎北側のイメージ図〕



駅前広場整備工事までの流れ

基本設計

駅前広場の構造や配置、動線などの基本的なレイアウトを決めます。

実施設計

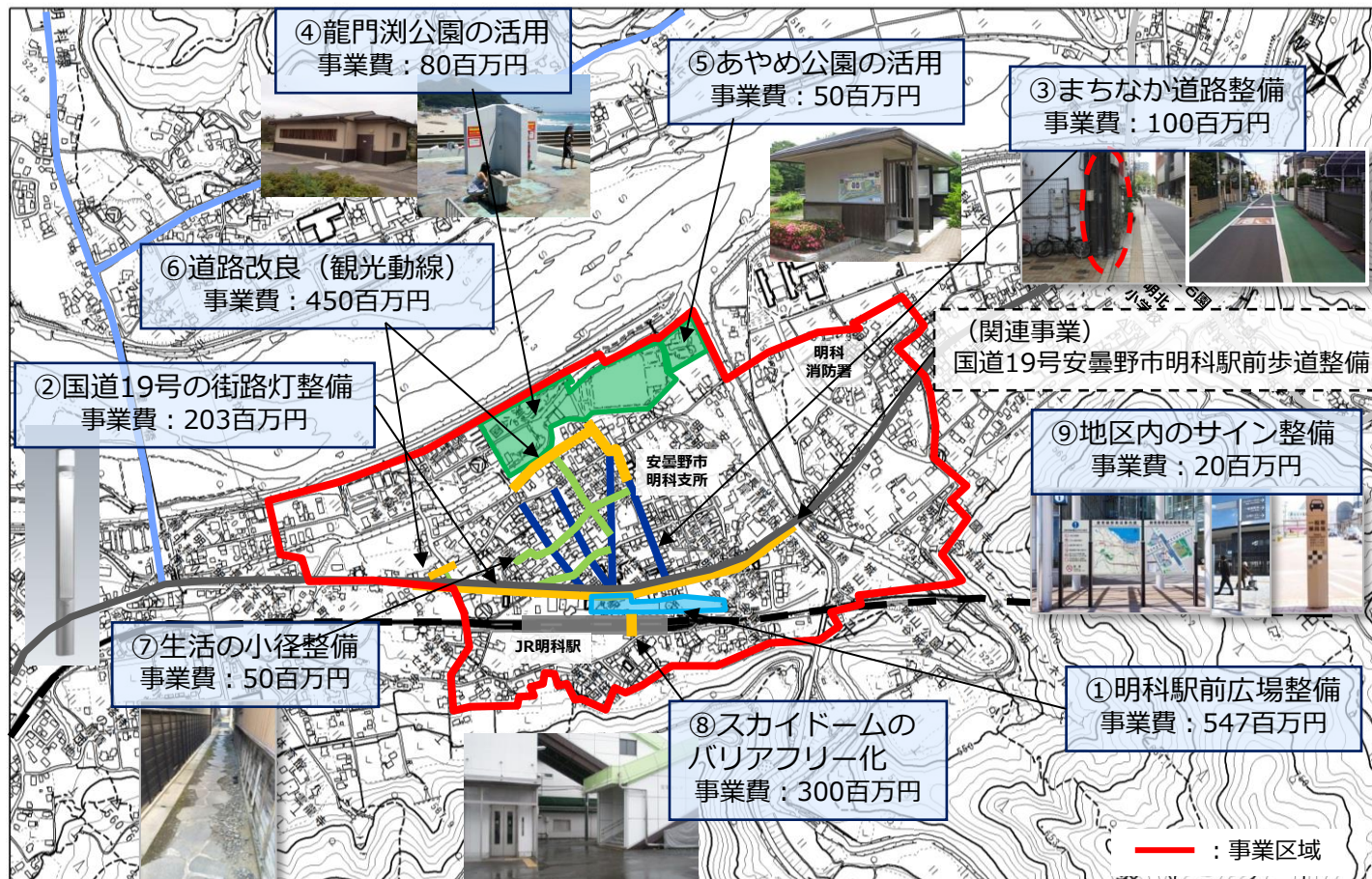
舗装やシェルターなど各施設のデザインや構造の具体的な検討を行い、工事施工に向けた詳細な図面の作成を行います。

工事

実施設計に基づき、工事を施工します。

明科駅周辺のまちづくり事業（明科駅周辺都市再生整備計画）が事業化しました！！

〔明科駅周辺都市再生整備計画（国交付金45%）〕



※上図は整備のイメージ図です

これまでの経過

◆まちづくり懇談会

国道19号歩道整備事業を契機に明科駅周辺の活性化を目指して、平成28年2月から全6回、1年をかけてまちづくり懇談会を開催しました。

◆まちづくり計画

まちづくり懇談会では、「明科が持つ自然や産業を活用し、みんなが安全に暮らせるまち」をまちづくりのテーマとして、明科駅周辺における6つの課題（①歩行空間、②駅前広場、③駐車場・周辺道路、④駅利用促進（観光）、⑤商店街（賑わい）、⑥街並み（景観））について、地域のみなさまや明科高校の学生、商店街のみなさまと話し合いました。

そして、懇談会での意見を集約した結果を「明科駅周辺まちづくり計画」としてまとめました。

明科駅周辺のまちづくり事業（明科駅周辺都市再生整備計画）

安曇野市では、まちづくり懇談会の成果である「明科駅周辺まちづくり計画」を基に、国の補助金を活用した「明科駅周辺都市再生整備計画」事業を平成30年度（2018年）に事業化しました。

この事業では、平成30年度（2018年）から平成34年度（2022年）の5年間をかけて、上図の①「明科駅前広場の整備」、②国道19号の歩道整備にあわせた「国道19号の街路灯整備」、③歩道空間の確保のため「まちなか道路整備」、④龍門淵公園⑤あやめ公園の「公園の再整備」、⑥公園への観光動線として「道路改良」、⑦まちなかの路地や空きスペースを活用した「生活の小径の整備」、⑧「スカイドームのバリアフリー化」、⑨観光案内板「サインの整備」の9事業を計画しています。